

カンボジアのバス公社幹部らが名鉄バスを訪問 名古屋のバスサービス運営のノウハウを学ぶ(2/25) ～現地で活躍する愛知県出身のJICA専門家も同行～

国際協力機構(JICA)は、カンボジア国プノンペン都のバス事業者や行政官らを日本に招き、公共交通利用促進の政策や、安全のための取り組みを学ぶ研修を実施します。一行は、2月25日に名古屋にて名鉄バスを訪問します。ぜひ取材をご検討ください。

カンボジア王国の首都プノンペンでは、近年の経済発展や急激な都市化の進行を背景に車両が増加し続けており、交通渋滞や都市環境が悪化しています。JICAは首都圏の交通混雑の緩和に向けてプノンペンの都市交通計画づくりを支援し、バス交通システムを新たに導入することを提案。2018年11月にはJICAにより日本のバス80台が供与されました。併せて、2017年1月より、技術協力「プノンペン都公共バス運営改善プロジェクト」を開始し、路線の効率化、バス運転手の安全意識の向上、バス公社の運営能力改善に取り組んでいます。

プロジェクトの一環として実施される本研修では、プノンペンバス公社総裁ら4名が日本の各都市を回りながら、バス事業者と行政の連携事例を学ぶとともに、バスターミナル、駅前開発、バス優先レーン等を視察し、バスの利用促進策を学びます。

特に名古屋市では全国に先駆けて基幹バスレーンやガイドウェイバスなどのバスの優先施策を実施しております。一行は2月25日に、これらの運行に携わっている名鉄バスを訪問し、バス営業所での日常のバスの運行・安全管理業務を学ぶとともに、名鉄バスの教習コースの見学を行います。一時帰国して同行する高橋JICA専門家(愛知県出身)へのインタビューも可能です。ぜひ取材をご検討ください。

※ご取材希望の方は2月22日正午までに以下までお申し込みください。



日本の支援でカンボジアに供与されたバス

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 広報室報道課 加瀬

[TEL:03-5226-9780](tel:03-5226-9780)

email:Kase.Haruko@jica.go.jp

【取材可能な日程】

	日時	内容	場所
2月25日	14:00 - 17:00	名鉄バス教習コースの見学	愛知県津島市大坪町大割 65
	17:00 - 17:30	研修全体の振り返り等	

【取材可能なJICA専門家】 高橋君成(プロジェクト総括)

愛知県出身。株式会社国際開発センタープロジェクト開発部部長。青年海外協力隊を経て、交通計画専門家としてカンボジア、ラオス、タンザニアなどの運輸・交通分野の技術支援や道路・橋梁・鉄道等交通案件の調査業務に携わる。2017年1月より4年間の予定で、カンボジア国「プノンペン公共バス運営改善プロジェクト」のプロジェクト総括に従事する。

【プロジェクト概要】

●「プノンペン公共バス交通改善計画」

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1660370/index.html>

●「プノンペン都総合交通計画プロジェクト」

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1000212/index.html>

http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12245825.pdf